令和６年度　学校経営計画書

美作市立土居小学校

1　本校のミッション（使命・存在意義）

豊かな自然に恵まれ、歴史的な魅力にも満ちた本校には、地域の学校として、保護者や地域から寄せられる期待が大きい。

児童が夢をもち、未来を切り拓いていくために必要な「確かな学力（知）」「豊かな人間性（徳）」「健やかな体（体）」のバランスの取れた力を付けながら、自分らしく伸びていく姿を実現することで、保護者や地域の願いや期待に応えたい。そのためには、家庭・地域との十分な連携を図り、豊かな関わりを推進していく。

また、教職員一人一人が、社会の動きや教育界を取り巻く環境の変化を敏感に捉え、教育の本質を見極め、思いを一つにしながら、新しいことにも積極的に挑んでいく姿勢を大切にする。

2　内外の環境分析

・自然の恵みにあふれ、静かで落ち着いた環境の中で教育活動ができる。
・純朴で明るく素直な児童が多く、全体的に落ち着いた学校生活を送ることができている。
・少人数であるため一人一人が活躍する場が多いが、自主性・主体性の伸長が課題である。
・３４年、５６年が複式学級であるため、学年差を考えた指導・支援の工夫を行う必要がある。
・個別の支援を要する児童の割合が高く、専門家や専門機関・保護者との連携による教育の充実を図る必要がある。
・保護者の考え方が多様化（自由主義・個性尊重等）しており、受容・傾聴等の対応が求められる。
・幼稚園と隣接しており、交流・連携・協力が容易な環境にある。
・各種行事への参加支援、指導等をしてくださる保護者や地域の方が多く、大変協力的である。

3　本校のビジョン（将来像、目指す姿）

〇学校教育目標「夢をもち、未来を拓く土居っ子の育成」

〇めざす学校像

「子どもも教職員もみんなが輝く学校」

～一人一人の幸せと成長が約束される場～

〇めざす児童像

・かしこい子（知）　（主体的に学び、基礎基本の定着と活用力の向上）
・つながる子（徳）　（互いの良さを認め合い、人とのつながりを大切にする心）
・たくましい子（体）（心と体を鍛え、失敗を乗り越えて最後までやり抜く力）

〇めざす教職員像

・子どものよりよい成長を願い、子どもの心に寄り添い、子どもを鍛える教職員
・日々の教育実践を大切にし、情熱をもって指導力を高めようとする教職員
・組織の一員としての自覚をもち、協働して真摯に教育活動に取り組む教職員
・保護者・地域の思いや願いを大切にする教職員
・教育公務員としての使命を自覚し、誠実に行動することのできる教職員

４　学校経営方針・計画

（１）基礎・基本の定着と活用力向上の指導【かしこい子】

①互いに意見を交流する協働的な学びを大切にし、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりを工夫する。
※年間計画に基づき、校内研修を計画的に実施し、個々が常に授業力の向上をめざす。
※単元計画の児童との共有を図るとともに、ふり返りを充実させ、児童が学ぶ喜びを感じ、次の学びへの意欲につながる授業づくりに努める。
※『非認知能力の育成を意識した授業』の実践と中学校区における授業公開による成果の確認
※ＩＣＴを効果的に活用した授業づくりの推進
　＝タブレットの効果的な活用（長期休業中の端末持ち帰り）

②一人一人の教育的ニーズに適切に対応し（個別最適な学び）、特別支援教育の視点を大切にした指導に努める。
※「個別の指導計画」「教育支援計画」の作成とそれに基づいた指導

③「土居小タイム」「学サポ」「漢字・計算検定」等の取組により、基礎基本の定着を図る。
※タブレットドリルの積極的な活用

④自主学習（ぐんぐんノート）を推進し、家庭と連携して家庭学習の習慣化と内容の充実に取り組む。
※年度当初「家庭学習の手引き」の配布と学期１回の家庭学習がんばり週間の実施

（２）豊かな心とつながりを育む指導【つながる子】

①学校行事や学級活動・異学年交流・縦割り班活動・幼小中連携授業の中で、個々の児童に自己肯定感と自己有用感を育てるとともに、互いに認め合い、支え合う集団づくりに努める。
※「くらしのやくそく」「土居小六か条」を効果的に活用し、児童の主体的な活動を意識する。
※学期１回の挨拶運動に、各学級が工夫して取り組み、積極的に自分の生活を見直し、向上をめざすきっかけとなるようにする。（児童会・ＰＴＡ生活安全部との連携）
※「土居っ子心のアンケート」を年間２回実施してその活用を図ることにより、全ての児童が安心して、幸せに過ごすことのできる学級・学校づくりを進める。

②学級活動・児童会・クラブ活動等において、自己決定の場を設定し、自主的・実践的に活動する力を育てる。

③ふるさと学習～ふるさとの人・自然・文化や歴史を学び、ふるさとを愛し、地域の人に対する感謝の気持ちをもつ児童を育てる。
※活動が終わるごとに、感謝の気持ちを言葉や文章（手紙）できちんと伝える。
※地域について学ぶ場や地域への発信の場を、学年に応じて設定する。
※運動会・土居宿マラソン等の行事を地域の方とのふれあいの場として、より意義あるものにしていく。

④学校行事や学習において、常に夢や目標をはっきりさせ、自分の成長を自覚しながら活動し、成功体験や感動を味わうことができるよう仕組む。
※ふり返りカード・キャリアパスポートの工夫
※全教職員で全児童を育てていく意識をもち、声をかけ、認めることを忘れない。

⑤市内他校との交流や幼小連携・中学校区連携の活動により、広い世界に目を向け、ものごとを広い視野で考えることのできる児童を育てる。
※ Meet や Zoom 等交流方法の工夫
※幼小連携の計画的・継続的実施とその深化

（３）命と生き方を大切にする指導【たくましい子】

①一年間を見通した体力づくりに取り組み、元気に体を動かして活動し、たくましく粘り強い気概をもった児童を育てる。
※岡山っ子運動習慣カード・マイベストチャレンジ等の取組
※土居宿マラソンを目標に据えた業間マラソンの取組

②安全教育を充実させ、児童の安全に対する危機対応能力を育成し、命を大切にする心を育てる。
※幼小合同避難訓練
※交通安全教室

③保健指導・食育指導の充実により、健康や食に関する自己管理意識の醸成に努め、生活習慣の確立を図る。
※歯磨き指導
※病気の理解
※性に関する指導（体の成長の理解・LGBTQ の理解等）
※情報モラル（メディアコントロール力の育成等）～家庭との連携～

④生活に根ざした道徳教育と人権教育の推進を行う。
※なかよし（人権）集会
※保護者と価値を共有する取組（人権参観日・道徳ノート持ち帰り）